

納入事例

かわさき宙（そら）と緑の科学館 様 プラネタリウム

星空の美しさとリアルさを追求した最新鋭のプラネタリウム「MEGASTAR-Ⅲ FUSION」。
数多くの空間をプロデュースしている井出祐昭氏による音響デザイン。



▲投影機とドームスクリーン（左）、
パワーアンプとシグナルプロセッサー（右）
18m水平ドーム、202席。スクリーン裏、
天頂にフルレンジスピーカーを4台、周辺に8
台、サブウーファーは周辺に4台配置。



◀コンソール（操作卓）の音響ブース
音量調整やBGM等の音源再生を行うほか、方
向パネルで天頂及び水平8方向から任意の方
向を選択し、拡声する。ドーム内の音像定位は
BSS AUDIOのシグナルプロセッサーで制御。

■ 2012年4月にリニューアルした最新鋭のプラネタリウム

「かわさき宙（そら）と緑の科学館」は、川崎市の自然学習における拠点施設です。今回、人気のプラネタリウムを全面的にリニューアル。地元出身のプラネタリウムクリエイター、大平貴之氏が手掛けた最新の投影機を導入し、世界最高クラスの美しい星空を体験できるようになりました。上映番組は毎月変わる科学館のオリジナルコンテンツで、その時々を観察できる天文現象を、専門の解説員がわかりやすくライブ解説します。

■ 無限感と声の明瞭度を求め JBL PROFESSIONAL のスピーカーを採用

音響設計を手がけたのは新宿・渋谷駅の発車ベルシステムや、表参道ヒルズなどの空間音響をプロデュースした井出祐昭氏。今回の改修では音響設備を一新し、空間の無限感、そしてライブ解説の声の明瞭度を追求したシステム構築を行いました。

スピーカーは JBL PROFESSIONAL の2ウェイフルレンジ、AM5215を採用。「高域の煌めきや中域の独特な音色が気に入りました。パッシブネットワークでありながら高音質なものも選定理由の一つです」と井出さん。スピーカーの性能を十分発揮できることを大前提に、方位に整合する定位感、どの座席からも均一に聞こえる音場、そして轟くような低域再生を狙って配置・調整を実施。また、中域の輪郭と押し出し、高域の透明感を獲得するべく BSS AUDIO のシグナルプロセッサーで音質を整えました。パワーアンプは AMCRON の MA-5000i をメインに採用。「パワーアンプの音質に対する貢献度は極めて高かったです。芯がありながら柔らかく、かつ透明な音が得られました」と高い評価をいただきました。

プラネタリウムは、その建築形状からくる反射音に悩まされ、音響調整が非常に難しいそう。今回の改修については「建築音響環境が整備されており、かなりデリケートな音場調整ができたので、目的である無限感と声の明瞭度を実現できました」と完成度の高さが窺えます。全体の成果について「天から降り注ぐような音場体験や、床面が振動するような体感的な低音体験を提供できるシステムに仕上がりました」と語ってくださいました。

●お問い合わせ先

ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.
ヒビノインターサウンド株式会社

TEL : 03-5783-3110
TEL : 03-5783-3882

HIBINO

hibino group



▼かわさき宙(そら)と緑の科学館

〒214-0032
神奈川県川崎市多摩区枳形 7-1-2
<http://www.nature-kawasaki.jp>

【オープン時期】

2012年4月

【主要な納入機材】

機材	スピーカー・システム
ブランド名	JBL PROFESSIONAL
製品名	AM5215/66、ASB6115
機材	パワーアンプ
ブランド名	AMCRON
製品名	MA-5000i、CTs2000
機材	シグナルプロセッサー
ブランド名	BSS AUDIO
製品名	BLU-160、BLU-120 BLU-BOB1



井出祐昭氏プロフィール (HIROAKI IDE)

Sound Space Composer
有限会社エル・プロデュース
代表取締役
井出音研究所 所長

<http://elphonic.com>

音に関する最先端技術を駆使し、音楽制作、音響デザイン、音場創生を総合的にプロデュースすることにより様々なエネルギー空間を創り出す『サウンド・スペース・コンポーズ』の新分野を確立している。

主な音響作品として、新宿・渋谷駅の発車ベルシステム、NHK スペシャル『月山』、東京銀座資生堂ビル、BVLGARI save the children、PACIFIC FLORA 2004 シンボルガーデン、愛知万博瀬戸愛知県館、MEGASTAR プラネタリウム、表参道ヒルズ、TOYOTA i-REAL コンテンツなど。立体音響や発音方式等で特許を取得し、著書に、『見えないデザイン〜サウンド・スペース・コンポザーの仕事』（ヤマハミュージックメディア）がある。